

中央高等学院「冬休み職業紹介」Zoom開催 報告書

開催日 2025年12月9日（火）

2025年12月9日(火)に教育機関等イベントとして、中央高等学院とその提携校において「冬休み職業紹介(医療関連の職業)」がZoomで開催されました。

高校1～3年生の生徒さん(午前の部:46名、午後の部:25名)が参加しました。生徒さんは自宅からZoomで視聴しました。

当イベントの目的は、生徒が多様な職業があることを知るキャリア教育の一環として、医療の現場ではいろいろなメディカルスタッフ(医療専門職)が患者さんにかかわり、最適・最善なケアの提供をしていることを学び、自分の進路を考えるきっかけにすることです。

チーム医療推進協議会が事務局(窓口)となり、毎年2回(夏期、冬期)実施されています。今回は6団体が参加しイベントが開催されました。

プログラムは、午前と午後の2部構成となっており、下記のスケジュール・内容で行われました。

①スケジュール

「午前の部」10:30～11:30 作業療法士、公認心理師、義肢装具士

「午後の部」14:00～15:00 臨床工学技士、診療情報管理士、医療ソーシャルワーカー

②内容

- ・各医療専門職の紹介
- ・質疑応答:中央高等学院担当者より質問を受け回答

各職種の説明時間は25分で、仕事内容と自身の資格取得経緯などを説明させていただきました。

以下にイベントの概要を説明します。

各医療専門職の説明

医療専門職の6団体から、写真や動画などが利用され、仕事内容などわかりやすく紹介されました。

各団体25分の持ち時間で、中央高等学院から以下の内容が指定されました。

- ①仕事の内容
- ②どうしてその職種を選んだのか
- ③どうしたらその職種の資格が取れるのか
- ④その仕事の魅力
など

義肢装具士は、午前の部で紹介を行いました。内容として、前半に義肢装具士の基本的な部分(義肢装具について、仕事内容)について、筋電義手の動画なども使用しながら説明し、後半に自分自身について(義肢装具士になるまで、義肢装具士を選んだ理由、職場の様子など)と義肢装具士の魅力について説明をして終了しました。

教員より義肢装具士の男女比について質問がありましたので、男:女=8:2と回答しました。



義肢装具士の仕事

② 採型 (型どり)



ギプス包帯 を使用

特徴: 水に濡らすと化学反応して固まる材料

私が義肢装具士になるまで



< 紹介内容の一部 >

イベントを終えて...

義肢装具士を紹介した午前の部では、46名と多くの生徒さんに参加していただきました。対面式ではないため直接生徒さんと関わることはできませんでしたが、アンケートの感想から義肢装具士に興味を持ってくれたことがわかり、参加した甲斐がありました。少子化や義肢装具士養成校の減少など、義肢装具士業界として厳しい時代となってきており、職業啓発活動ができることは大変ありがたく、また有意義であると思います。今後もこのようなイベントが多く開催されることを願っております。最後に、事務局となって下さった、チーム医療推進協議会ご担当者様には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

担当幹事: 菅野

アンケート(生徒の感想 一部抜粋)

自分の目で義足や義手を使ってる人を今まで見た事ないと気づきました。生活するのに使うものを失っても生きていける、補助してくれるような凄いものが当たり前にあるのがいつから普通になったのか気になりました

とても貴重なお話ありがとうございました私もよくケガをするのでサポーターなどにお世話になります。皆さんのおかげで安心して生活ができていると私は思っています。本当にありがとうございます

作業療法士、公認心理師、義肢装具士のお仕事は今回のお話を聞くまで知らなかったのもいい機会でした。医療は怪我や病気を治すだけではないということがわかりました。困っている人を助けるということが大切と感じたので日常生活でも生かしていきたいです。今回はありがとうございました。【興味：作業療法士、公認心理師、義肢装具士】

本日は私たちの為に職業探究講座を開いてくださりありがとうございました私はこの職業探究講座を聞き義肢装具士に興味を持ちました。自分の友達にも義足の人がいるので今日の事をきっかけに少し勉強してみようと思います

今回は2回目の参加でした。一回目から少し時間が経っていたので、改めて進路を考えるのに参考になりました。私は公認心理士に興味を持っていて、今回お話を伺って大変さを深く知ることができました。そして義肢装具士や作業療法士のお話も興味深く、新しい進路の道ができました。今日教えて下さったことを参考に、自分からも調べて見て、しっかりと進路を固めていきたいと思いました。お忙しい中ありがとうございました。

初めて聞く職業ばかりでしたが、自分らしく生きるために人生をデザインする「作業療法士」、家族や関係者のこころもケアする「心理療法士」、ものづくりでサポートする「義肢装具士」、どれも支援したい気持ちが大事でとてもお役に立つお仕事であることがわかりました。ありがとうございました。【興味：作業療法士、公認心理師、義肢装具士】

日本の医療は医師や看護師だけではなく公認心理師や義肢装具士などの様々な医療関係者の方達によって支えられているんだと知り、チーム医療の大切さに気付く事ができました。また、今日の職業探究講座を通して仲間との協力をより大事にしたいという思いが強まりました。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

あんまり聞いたことがない職種だったのでいろんなことが学べてよかった。【興味：作業療法士、義肢装具士】

医療を支える仕事とは、本当に多くの人の努力によって、成し遂げられているのだなと思いました。【興味：義肢装具士】

義肢装具士は初めて聞いた職業だった義肢(義手、義足)は聞いたことがあったが、医療用コルセットや医療用サポーターなどの「装具」の両方と、車椅子や杖などを義肢装具士さんが取り扱っていることを学べた義肢は足だけでも膝のパーツ、足のパーツなどそれぞれに沢山の種類があること、装具には身体機能を補助するものや患部の安静を保つ為に使われるものがあることが分かったその患者さんに合った義肢などは医師の処方が必要ということは初めて知った身体の型を取り、石膏でモデルを作って削ったり盛ったりしてから義肢や装具を作るという過程があり、大変な作業をしないと患者さんに合った義肢や装具が出来上がらず、それでも合わない場合は修正を繰り返すのは作業も修正も大変だなと思った